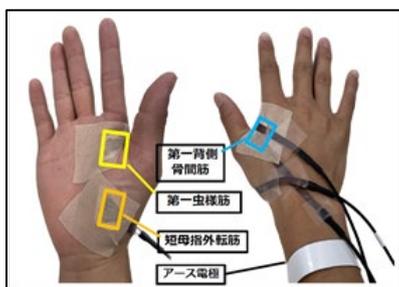


**ファイテン ソラーチ ハンドストレッチャーは、手のピンチ力に影響を与えることが示唆されました  
広島大学×ファイテンとの共同研究結果**

ファイテン株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：平田好宏、以下ファイテン）は、広島大学大学院医系科学研究科上肢機能解析制御科学 砂川融教授と共同研究を行ってきました。共同研究については、車谷洋講師のサポートのもと、手内在筋のストレッチングに着目し、その運動パフォーマンスに与える影響を、ファイテン ソラーチ ハンドストレッチャーを用いて研究してまいりました。

健常成人 40 名を対象に、巧緻性課題(手の細やかさ、器用さ)と最大ピンチ力発揮課題(指のつまむ力)を四施行実施し、施行間のストレッチングの有無が、課題実施回数および手内在筋筋活動に影響するかを検討しました。

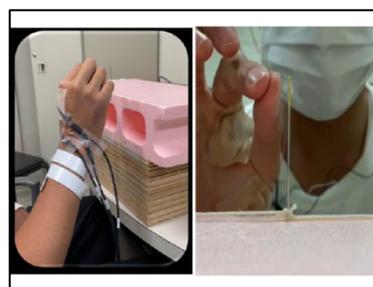
結果、巧緻性課題ではストレッチングの有無は実施回数、筋活動に影響しなかったが、最大ピンチ力発揮課題では、初回ストレッチング後に実施回数が有意に増加し、手内在筋の筋活動を高めていました。ファイテン ソラーチ ハンドストレッチャーによる手内在筋へのストレッチングは、ピンチ力発揮の運動パフォーマンスに正の影響を与えられます。



方法 シート状表面筋電図



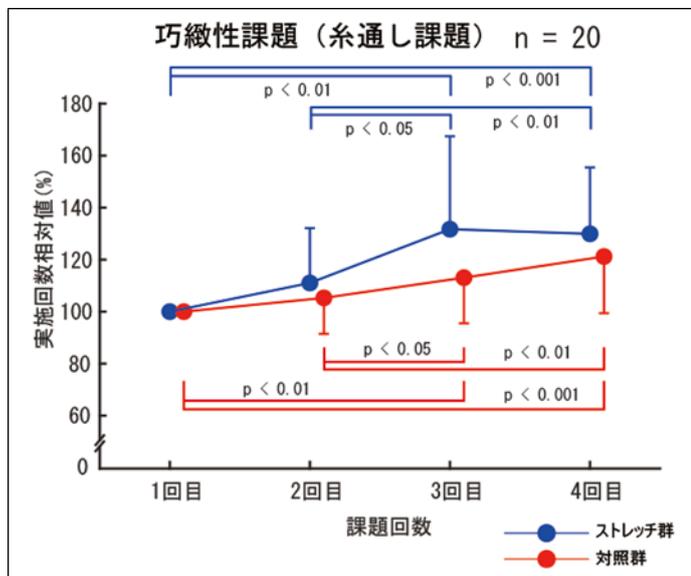
方法 ファイテン ソラーチ ハンドストレッチャー



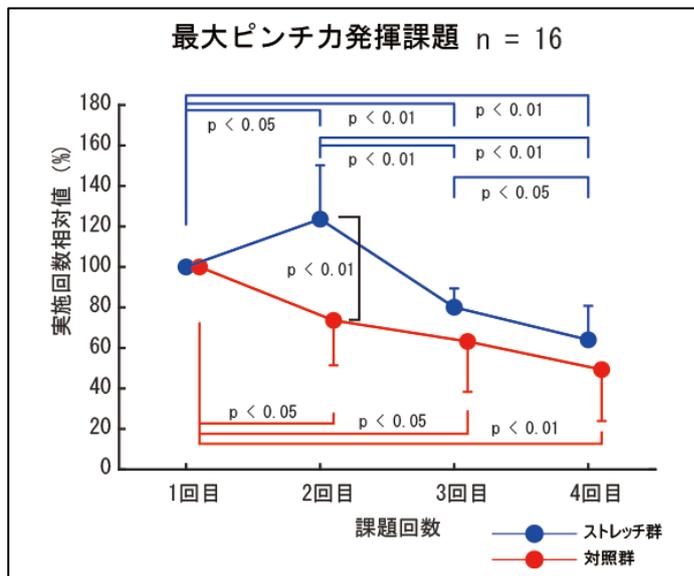
方法 糸通し課題



方法 ピンチ力発揮課題



結果 1 糸通し回数(相対値)



結果 2 ピンチ力継続発揮回数

**最大ピンチ力：Stretch群の最大ピンチ力継続発揮回数：1回目 < 2回目**

**第一虫様筋の筋活動量：Stretch群 > Control群**

考察 最大ピンチ力継続発揮回数

## Press Release

ファイテンは創業以来、リラックス、ストレス分野についての様々な商品やサービスを、国内外の消費者に提供し、その悩みや課題を解決してまいりました。一方で広島大学大学院医系科学研究科上肢機能解析制御科学では、上肢機能の解析方法の一つである動作解析、および上肢機能を制御する脳機能について体系的に学べるよう取り組んでいます。両者の連携による新たな試みについて、ご期待ください。

### <会社概要>

会社名：           ファイテン株式会社（URL：<https://www.phiten.com/>）  
所在地：           京都府京都市中京区烏丸通錦小路角手洗水町 678 番地  
設立：             1983 年 10 月 4 日  
代表者名：         代表取締役 平田好宏  
事業内容：         化粧品・医薬部外品・医療機器の製造・販売、スポーツ関連商品・健康食品・健康グッズ等の製造・販売、不動産事業

学校名：           広島大学（URL：<https://www.hiroshima-u.ac.jp>）  
所在地：           霞キャンパス 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号  
学長名：           広島大学長 越智光夫

### 【本件に関するお問合せ先】

ファイテン株式会社 経営企画室 松田 TEL：075-229-7575 メール：[takashi-matsuda2@phiten.co.jp](mailto:takashi-matsuda2@phiten.co.jp)  
〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路角手洗水町 678 番地 四谷学院京都ビル 4 階